

梧桐会総会開催

5月12日(日) 於・大崎高校



第48号

平成14年4月1日発行
発行所
梧桐会
事務局・東京都大田区新蒲田
3-18-1-507 渡部良彦
TEL/FAX 03(3730)8117
編集人 渡部良彦
発行人 川村治
印刷 日正印刷

千年杉からの忠言

親と社会と学校へ



都立大崎高等学校長
星野佳正

梧桐会の皆様には、お変わりございませんでしょうか。私は、栄えある都立大崎高校に赴任して、早三年目を迎えます。

お蔭で、本校では、今年の十一月に、創立九十周年と校舎落成を祝う記念式典を挙げる予定です。その節には、皆様の多大なるご協力をお願い致します。

今回は、挨拶に代えまして、先般の卒業式での私の式辞の骨子を紹介し、日ごろの教育活動の一端を、ご理解頂きたいと思っております。

『屋久島の縄文杉は、周囲が十六・四メートル、樹齢は七千年ともいわれる。数年前この島を訪れたとき、なぜ屋久島だけに、こんなに巨大な杉が生き続けているのか』という私の素朴な疑問に、島の人が次のように答えてくれた。

進学状況 (3月9日現在)

進学	
四年制大学	1
専門学校	1
短期大学	1
跡見学園女子	1
神奈川	2
神田外語	1
関東学院	2
北里	1
恵泉女学院	1
国士館	1
駒澤	3
産能	1
湘南工科大学	1
聖徳	1
聖学院	1
大正	1
大東文化	1
高千穂商科	2
玉川	3
鶴見	3
帝京	2
桐蔭	1
東京工芸	1
東京電機	1
道都	1
二松学舎	1
文教	1
武蔵野女子	2
武蔵野	1
明治学院	3
立正	9
短期大学	2
跡見学園女子	2
産能	2
順天医療	1
昭和三女子	2
聖徳栄養	1
聖徳大学	1
鶴見大学	1
東京成徳	1
東京農業大学	2
都立短大	1
日本体育大学	1
立教女学院	1
専修	1
就職	71名

「もともと屋久島は、岩ばかりの山で、植物が根を張るための土は少なく、その上、毎日のように雨が降り、風も強く、植物が育つためには、とても苛酷な環境である。だから、この島の植物は、栄養分を吸収するためには、根っこを横に少しでも長く延ばして来た。それでも、杉の樹の年輪は、一年で一ミリも育たない。幹は風雨に耐えるために、油分を多く蓄えた。こうして樹木全体が緻密で硬くなったため、湿気が多くても腐ったりしなかった。

一方、この巨大な千年杉も、その栄養分の元をたどれば、草木を分解する小さなバクテリアの働きによる幸運にもこの島には、沢山のバクテリアが、繁殖できる環境があった。しかし、もし足元にあるような、小さな草木を刈り取り、落葉を

もを敷くしつけ、心身ともに、強靱に鍛え上げるこの大切さを忘れてはいけませんか。親も、社会も、学校も、こんな千年杉の叫びとも思える忠言が、どこからともなく聞こえてきた。見渡せば、ものけ姫の舞台そのままだ、岩も木も大きなマリモのように緑深い苔に覆われた辺りの風景の中からは、次のような、さらなる別の声も聞こえてきた。

「人間社会でも、これから、ここ屋久島の生態系と同じように、それぞれの役割、いわば個性ともいわれるものを大事にして、みんなで共に支えあって生きていければいい。いまこそ日本は、明治以来の、人をおしのけても自分だけはい上がろうとする競争社会から弱者も強者もなく、共に生きようとする、共生社会へと致しましては、出来うる限りのご協力を致すべく、現在努力しております。此の記念すべき慶祝の会に際しては、今後とも尚一層のご支援を賜ります事をお願いいたします。

平成九年から同窓会の事務局を設置して、従来は学校にお願いしておりました。会員皆様方の住所変更や会費の徴収等、ご要望を受けさせていただきます。が、本年四月から受付住所と電話番号が変更となっておりますので、お間違い無きよう、今後ともよろしくお願い申し上げます。

ご挨拶



梧桐会 会長
川村 治

春から初夏へ、爽やかな季節と成って参りましたが、梧桐会の皆様方には、如何お過ごしでしょうか。

日頃より同窓会の活動に深い御理解と御協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

平成十三年三月を過ぎ、今年も二八五名の卒業生が新しい梧桐会員として入会

され、今日では一七、〇〇〇名を超える多数の組織へと成長して参りました。

梧桐会は、会員相互の親睦交流と、併せて母校に発展に寄与する事を目的として、昭和十二年に設立されて以来、今年で六十五年を迎える事と成りました。

会の活動に付きましては、

皆様ご承知の事とは思いますが、第一に会報の発行が有ります。梧桐会報は年一回の発行を目指し、幹事の皆様方には忙しい仕事や学業の合間をぬって、掲載原稿の依頼や特集記事の企画等について、大変頑張って頂いております。

第二に総会の開催が有りますが、本年も五月十二日(日曜日)母の日に大崎高校にて開催すべく、只今幹事会において計画を練っている所です。会員皆様方には、どうぞお誘い合わせ下さい。多数ご出席下さいませよう、お待ち申し上げます。

又、会員名簿の発行事業も大きな活動の一つで有りますが、昨年もご案内を致しました通り、今期中には発行のご案内が出来ます。準備を進めておりますので、その際には事前にご予約を含めたご協力をぜひ御願ひ申し上げます。

さて大崎高校は、懸案と成っております。都道補助26号線の学校敷地内通過ともなう新校舎建築が今秋完成の運びと成り、二十一世紀に相応しい高校が誕生する事となりました。

この為、11月16日(土)には新校舎落成と創立九十周年を祝う会が現在計画されております。昨年末には実行委員会も作られ、同窓会

と致しましては、出来うる限りのご協力を致すべく、現在努力しております。此の記念すべき慶祝の会に際しては、今後とも尚一層のご支援を賜ります事をお願いいたします。

平成九年から同窓会の事務局を設置して、従来は学校にお願いしておりました。会員皆様方の住所変更や会費の徴収等、ご要望を受けさせていただきます。が、本年四月から受付住所と電話番号が変更となっておりますので、お間違い無きよう、今後ともよろしくお願い申し上げます。

と致しましては、出来うる限りのご協力を致すべく、現在努力しております。此の記念すべき慶祝の会に際しては、今後とも尚一層のご支援を賜ります事をお願いいたします。

平成九年から同窓会の事務局を設置して、従来は学校にお願いしておりました。会員皆様方の住所変更や会費の徴収等、ご要望を受けさせていただきます。が、本年四月から受付住所と電話番号が変更となっておりますので、お間違い無きよう、今後ともよろしくお願い申し上げます。

と致しましては、出来うる限りのご協力を致すべく、現在努力しております。此の記念すべき慶祝の会に際しては、今後とも尚一層のご支援を賜ります事をお願いいたします。

平成九年から同窓会の事務局を設置して、従来は学校にお願いしておりました。会員皆様方の住所変更や会費の徴収等、ご要望を受けさせていただきます。が、本年四月から受付住所と電話番号が変更となっておりますので、お間違い無きよう、今後ともよろしくお願い申し上げます。

と致しましては、出来うる限りのご協力を致すべく、現在努力しております。此の記念すべき慶祝の会に際しては、今後とも尚一層のご支援を賜ります事をお願いいたします。

平成九年から同窓会の事務局を設置して、従来は学校にお願いしておりました。会員皆様方の住所変更や会費の徴収等、ご要望を受けさせていただきます。が、本年四月から受付住所と電話番号が変更となっておりますので、お間違い無きよう、今後ともよろしくお願い申し上げます。

と致しましては、出来うる限りのご協力を致すべく、現在努力しております。此の記念すべき慶祝の会に際しては、今後とも尚一層のご支援を賜ります事をお願いいたします。

平成九年から同窓会の事務局を設置して、従来は学校にお願いしておりました。会員皆様方の住所変更や会費の徴収等、ご要望を受けさせていただきます。が、本年四月から受付住所と電話番号が変更となっておりますので、お間違い無きよう、今後ともよろしくお願い申し上げます。

と致しましては、出来うる限りのご協力を致すべく、現在努力しております。此の記念すべき慶祝の会に際しては、今後とも尚一層のご支援を賜ります事をお願いいたします。

平成九年から同窓会の事務局を設置して、従来は学校にお願いしておりました。会員皆様方の住所変更や会費の徴収等、ご要望を受けさせていただきます。が、本年四月から受付住所と電話番号が変更となっておりますので、お間違い無きよう、今後ともよろしくお願い申し上げます。

と致しましては、出来うる限りのご協力を致すべく、現在努力しております。此の記念すべき慶祝の会に際しては、今後とも尚一層のご支援を賜ります事をお願いいたします。

平成九年から同窓会の事務局を設置して、従来は学校にお願いしておりました。会員皆様方の住所変更や会費の徴収等、ご要望を受けさせていただきます。が、本年四月から受付住所と電話番号が変更となっておりますので、お間違い無きよう、今後ともよろしくお願い申し上げます。

同窓会名簿発行について

昨年、梧桐会同窓会名簿 改訂版発行のお知らせをさせていただき、十数名の方からご注文のお振込み並びにご予約をいただきましたが、なにもにも会員からお預かりした限りある予算の中から作成するため、苦勞してはおります。大変勝手ではありますが、この紙面をお借りして、再度、ご注文をお受けしたいと思っております。この機会に是非ご購入いただき、同期会や、旧友との連絡等にご活用いただければ幸いです。

ご注文には、同封の払込取扱票に名簿希望と書いてお振込みください。また、既にご注文の会員におかれましては、今年中には作成いたしますので、今しばらくお待ちいただきたく、ここにあわせてお願い申し上げます。

連絡先 梧桐会事務局 (移転しました)
TEL/FAX 03-3730-8117

と致しましては、出来うる限りのご協力を致すべく、現在努力しております。此の記念すべき慶祝の会に際しては、今後とも尚一層のご支援を賜ります事をお願いいたします。

平成九年から同窓会の事務局を設置して、従来は学校にお願いしておりました。会員皆様方の住所変更や会費の徴収等、ご要望を受けさせていただきます。が、本年四月から受付住所と電話番号が変更となっておりますので、お間違い無きよう、今後ともよろしくお願い申し上げます。

と致しましては、出来うる限りのご協力を致すべく、現在努力しております。此の記念すべき慶祝の会に際しては、今後とも尚一層のご支援を賜ります事をお願いいたします。

平成九年から同窓会の事務局を設置して、従来は学校にお願いしておりました。会員皆様方の住所変更や会費の徴収等、ご要望を受けさせていただきます。が、本年四月から受付住所と電話番号が変更となっておりますので、お間違い無きよう、今後ともよろしくお願い申し上げます。

目が見えない人しか見えないものがある。耳の聞こえない人しか聞かない歌がある。むしろなにも知らない僕等は、もっと強く一杯に。拙著「庭田忠正」の中「詩」より

芝商業高校 転入
大山輝章 (政経) 大森高校
金子 栄 (英語) 小石川工業高校
古見直美 (英語) 葛西南高校
田口拓男 (保健体育) 羽田工業高校
土屋 実 (英語) 南高校
天野安郎 (主任) 大森高校
秋田正樹 (主任) 大森高校
安川芳子 (司書) 大森東高校
稲垣誠一 (嘱託) 足立西高校
小山台高校

芝商業高校 転入
大山輝章 (政経) 大森高校
金子 栄 (英語) 小石川工業高校
古見直美 (英語) 葛西南高校
田口拓男 (保健体育) 羽田工業高校
土屋 実 (英語) 南高校
天野安郎 (主任) 大森高校
秋田正樹 (主任) 大森高校
安川芳子 (司書) 大森東高校
稲垣誠一 (嘱託) 足立西高校
小山台高校

芝商業高校 転入
大山輝章 (政経) 大森高校
金子 栄 (英語) 小石川工業高校
古見直美 (英語) 葛西南高校
田口拓男 (保健体育) 羽田工業高校
土屋 実 (英語) 南高校
天野安郎 (主任) 大森高校
秋田正樹 (主任) 大森高校
安川芳子 (司書) 大森東高校
稲垣誠一 (嘱託) 足立西高校
小山台高校



体育館で校歌を歌い終えて

創立90周年に向けて

教頭 大平 一男

平素より学校にご支援・ご協力を賜り深謝申し上げます。

皆様の母校は、今年十一月に校舎改築落成記念・創立90周年記念行事を予定しており、昨年九月に準備会を立ち上げ、現在、同窓会からも実行委員会に入っているため、実施に向け準備を進めております。

創立80周年記念誌「大崎の八十年」には、全日制職員として、鈴木孝男先生(保健体育科)、中村徹先生(英語科)、お二人の名が記されておりましたが、今年四月で異動となりました。

「80周年を迎える本校の課題」として、全日制教頭・大野先生は次の三点を上げています。一、道路建設の問題、二、本校の個性化をどう進めていくか、三、生徒激減と都民の公立学校離れ。当時の大崎高校が抱えていた課題の大きさに愕然とします。

十年後の現在、道路建設問題については、工事完成に向う、という状況にあり、後の二点については、現在も大きな課題として残っていると考えます。

完全学校週5日制実施に

係って生徒の学力低下をどうすればよいか、来年度の都立高校入試に係って従来の学区を取り払って全都的に受験が可能となる状況が生まれること等が、さらに本校の課題として加わるものと考え、その課題に取り組むを急いでいる状況にあることを、同窓会の皆様にご案内申し上げます。

本校は創立90周年を迎え、大きな転換点を迎えていると考えております。

これまでの本校の輝かしい歴史や伝統に甘えることなく、さらなる発展を遂げることが、新しい今後の大崎高校の歴史や伝説の礎となると確信し、全力で課題解決に取り組む所存です。

同窓会の皆様のご支援・

雑感

事務局長 安部 卓郎



東京都の入都式で石原知事は、新入職員に式辞を贈りました。昨今の中央政府の官僚不振や政治の威信低下を憂い、「東京から日本を変える」との信条を踏まえ、「先輩の決めたルーチンワークに溺れず、みずみずしい発想やひらめきを持って、ちよつと異議がありませう」とか、「私ならこうします」とか、どんどん発言してもらいたい」と励ましました。そして、「新人の意見を聞かない上司は、私がやる事をするだけでは、決して達成できません。」

このようにことを念頭に

置きつつ、私は、大崎高校の入学式に参列いたしました。さぞや潑刺とした新入生の顔が見られると期待していましたが、しかし、新入生諸君の元気のなさを感ぜ、少々がっかりいたしました。担任が呼名をしても、返事がよく聞こえたのは28名の新生のうちの数える程でした。入学選抜の願書受付に来た時は、「〇〇中学の〇〇です。よろしくお願ひします。」と願書を提出していたあの頃の元気の良い初々しい姿はどこへ行ってしまったのだらうと思ひました。

願書提出時のマニュアルがあつて、中学校の先生にこう言うんだよと指示されたまま言っているのではな

いかな。指示待ち、マニュアル入ってくるので、高校としても十分対策を講ずる必要があり。学力の低下は目に見えています。学校行事も精選して、学校は先ず第一に、勉強をする場所であるという原点に立ち戻ってほしいと考えます。

何か知恵を出さないと、アジアの国々にも抜かれ、3流国に転落してしまうことにもなりかねません。

も着手されました。年明けの2002年2月には、付帯工事としての体育館・格技棟改修工事(外壁)もはじまり、このゴールデンウィーク明けには仕上がる予定とのことです。

3月にはフェンスの工事と都道26号線の暗渠部93mの工事も終わり、4月17日には人工地盤の全容が見渡せるようになりまし

うらかな日差しの中、3月1日、28名の生徒が卒業していききました。(昨年7月にも、アメリカへの留学を終えた1名が卒業しています。)

行事などでは教員そっちのけで盛り上がり、3年間「皆勤」の生徒が近年例を見ない21名という多さの学年でした。

今回の卒業に向けては、3年生が「卒業対策委員会」をつくり、様々な活動を行いました。現教職員の間で、卒業対策委員会の範囲では、初めてこのような委員会が出来たのではな

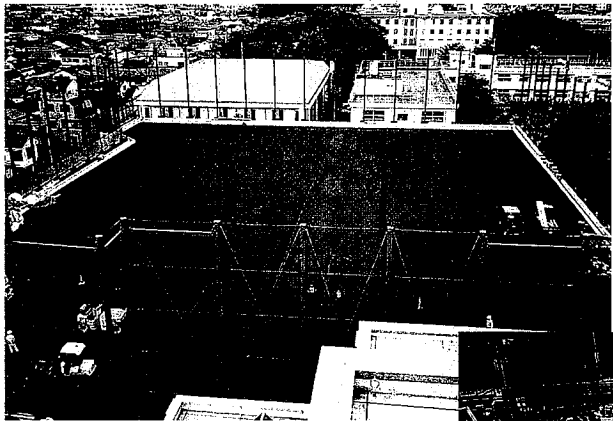
いかなという事です。まずは、PTAからいただく卒業記念品は何かいいかというアンケートから始まり、卒業式についての願望を取りまとめた、ともあれ、これからの日本を担っていく若者たちに、覇気にあふれた若さを誇り、自ら考え、行動することを期待するこの頃です。

充実した「卒業のしおり」を作ったりと、大活躍でした。卒対新聞「ベすとふれんど」も、第5号まで発行しました。卒業式では、生徒代表の言葉の場面などに工夫が加えられました。また、国旗・国家のことについても話合いを重ね、「良い印象を持っていない人もいるので、配慮して欲しい」という要望をまとめました。本当に、よく議論をしたと思います。後輩達に、是非この活動を引き継いで欲しいというのが、卒業対策委員会メンバーの願ひのようです。

進路に関しては、就職希望者は非常に厳しい状況の中、担当教員と相談を重ね、頑張り抜きました。進学については、大学・短大・専門学校とも、希望するところ

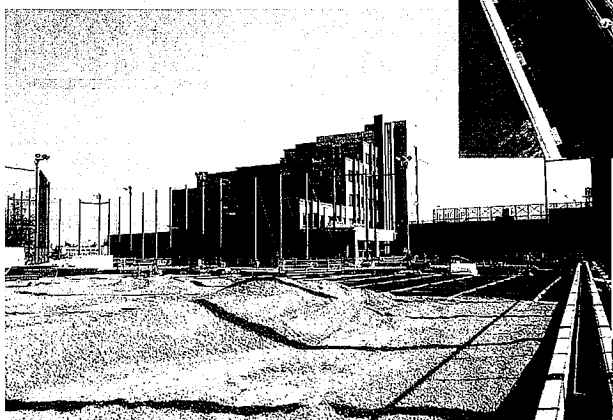
合格した生徒が増えました。特に、推薦入試でかなり頑張りを見せたのが今年

人工地盤 いよいよ完成!



防水加工の終わった校庭の全容

工事中の校庭北側から見た校舎



工事中の3階アプローチから正門

校舎南側から見た3階玄関

2002年度 人工地盤工事の進捗状況

前改築委員長 山田 進



1999年の9月に新校舎が竣工し、同年の11月から翌2000年の3月にかけてB棟が解体されました。2000年6月28日には近隣住民への道路工事説明会が本校で開かれ、同年の8月から都道26号線の暗渠部の工事が着工されました。大崎高校の改築工事よりも都道26号線の工事着工が、品川区民はもとより近隣住民の皆さんにとって積年の願ひであつたわけですから、この工事の着工への期待のほどが感じられました。

7月5日には本校にて人工地盤工事の説明会が行われ、A棟の2、4階の解体工事と平行して、A棟1階部分の補強壁工事(1階部分の柱と基礎部分を人工地盤に生かしています)が進められました。校舎の解体工事は、2001年3月まで続けられ、終了と同時に人工地盤にも本格的に手が付けられました。

11月からは人工地盤の上層部の仕上げに入り、フェンス・ポール・照明柱ならびに水銀灯の取り付け加工

も着手されました。年明けの2002年2月には、付帯工事としての体育館・格技棟改修工事(外壁)もはじまり、このゴールデンウィーク明けには仕上がる予定とのことです。

3月にはフェンスの工事と都道26号線の暗渠部93mの工事も終わり、4月17日には人工地盤の全容が見渡せるようになりまし

同時に表面防水加工(アフアルト層)も終了し、これからは正門や玄関前のアプローチと、駐輪場・倉庫・トイレなどの付帯工事の仕上げと、免震校舎と人工地盤を繋ぐグレーチングの取

り付けなど、人工地盤の最終仕上げ(全天候用ラバー貼)の完成が待たれるところです。

さらに、区立体育館につながる区道沿いの北西部の側壁の仕上げは、地域の方々にも納得のいくものになると思ひます。

今日まで工事は順調に進められ、予定よりも1ヶ月早い8月より校庭の使用ができるそうです。今後は、東急大井町線の高架工事にあわせた残りの都道26号線の暗渠部分に合わせて行われるテニスコート工事を残すのみとなりました。工事関係者の方々や近隣住民の方々に感謝申し上げます。

研究内容としては、「いじめ問題」「地球環境問題」「創造力育成」など。創造性については、日本では創造力を育てるといふのを、工夫や改善する力をつけることと捉えていることが多い。しかし、本当は何もないところから何かを生み出すという発想、0から1を生み出せるような子どもを育成するための研究です。「ヤングマイスターの育成」という表題がつけられています。

米イオンド大学は、国連認定の大学連盟、WAUC(国際学位認定機関)に加盟する国際大学です。

昨年九月、米イオンド大学の学位授与選考委員会より、星野佳正・現学

星野校長に名誉博士号

校長に名誉博士号(教育学)が授与されました。都立高校長では初めての授与です。

53期生が梧桐会に仲間入りします

53期生 H R 担任 青崎百合雄

の特徴です。こんな53期生たちですが、どうぞよろしくお願ひいたします(と、彼等彼女等に代わって申し上げます)。

寄付のお願い

一口500円として、郵便振替でご送金下さい。同窓会の当日も受付けております。なお、今年は旧卒の方のところへは払込取扱票に住所・氏名・会員番号を打ち出しておりますので、ぜひご利用下さい。

郵便振替 00170-0-614506 (加入者名 大崎高校梧桐会)

夫婦・親子で同窓生



（昭和34年度卒）
（昭和34年度卒）
（平成2年度卒）
（平成5年度卒）
宏子 織子
昌英 佳寛
山崎 川崎
松（川崎）

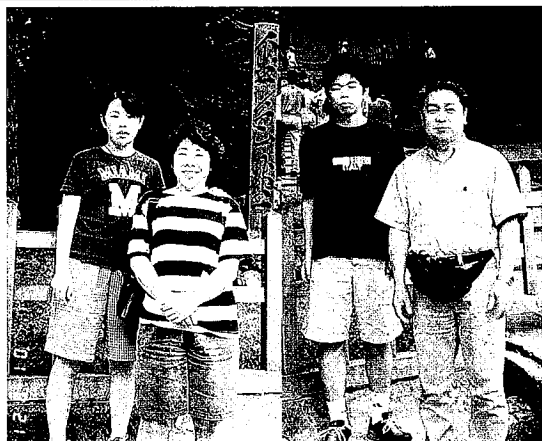
昭和32年春、校庭に降りる大谷石の階段に並んで桜の花びらを受けながら、入学式の記念写真を撮り35年に卒業する迄、色々思い出を作りながらも、学校も町並みもほとんど変わることなく、今思えばそれなりにの冷房、冬は石炭ストーブ

会員だより

われら夫婦（+親子）同窓生

娘も大崎へ入学

学校群一週生の私達が入学した大崎高校は、木造校舎の残る学校でした。今の子供達には想像もできないと思いますが、なんと石炭ストーブで暖を取っていました。そのため2年生にな



芳賀正隆（昭和44年度卒）
（須山）くみ子（昭和44年度卒）

で暖房、毎朝当番が早く来て、新聞紙、薪、そして石炭と苦労しながら火を熾したものだ。私はバスケットボール部で、当時バスケット部は部活の中でも力の有る方で、柔道部や剣道部等こわい先輩もいたが、割合大きな顔をしてたような気がする。体育館も土曜日は隔週バスケット部が独占していた。ただ外のコートはいつも重いローラを引いて地均しをするのが日課であった。冬は霜が下りるので庭を敷き詰める等色々苦労したものだ。家内もバスケット部と一緒にあったのが今の縁につながっている。

子供を4人もうけ、一番上と一番下は別の高校に進んだが、真中二人は大崎高校に入り共にテニス部に所属していた。その上の子も既に結婚し、孫の誕生を楽しみにしている。又いつ先頃長男に女の子が生まれ、名実共におじいちゃんになったのかなと思いつつ還暦を迎えました。まだまだ意気盛ん、これから第二の人生を楽しく有意義に過ごすべく頑張っています。とは云えボツリボツリと歯の抜けるように仲間の計報を耳にするようになって来ました。

お元気ですか

樋田重雄（昭和45年度卒）
美佐子（昭和47年度卒）

大崎高校バレー部OBの皆様、又同期並びに先輩、後輩の皆様お元気ですか。ゲジとバラです。お陰様で二人共元気にやっています。昨年はバレーボール部OB会が休会となつてしまつた大変失礼致しました。担当幹事は渋谷先輩と伊藤先輩の城南高校教員コンビが企画し、大崎高校の体育館

でバレーボールをやり、その後飲み会で大いに盛り上がる予定だったので、お二人共憶えています。今年は大崎高校の校舎・校庭の改築工事も終わり、すっかり整備されきれいになりました。是非今年は大崎高校でOB会を実施したいと思つています。幹事はもちろん渋谷先輩と伊藤先輩それにゲジとバラが手伝います。大勢の方の御参加と関係各方面の皆様御協力をお願い申し上げます。

出会は幹事会



齋藤哲也（平成3年度卒）
（金木）奈津子（平成9年度卒）

この会報を作成する時期が近づくにつれ、何か嫌な予感がしていました。案の定、梧桐会の幹事会で「はい、これよろしく」と渡部副会長から渡されたものはこの原稿でした。なぜなら私達夫婦が出会ったのは梧桐会の幹事会だったからです。初めて出会ったのは、私が25歳、彼女が18歳の時でした。私の第一印象は「真面目そう」という感じだったのでものを話したら良いのか分からず、逆に彼女は「軽そうだな」という印象を持ったようで、あまり話さないようにしようと思つていたらしく、たいした会話もないまま

一年が過ぎていきました。翌年の幹事会でふとしたことから会話が弾み、色々な話をしてくうちに、お互いに持つていた印象も変わり、少しずつ二人の距離も縮まって付き合うことになりました。それから2年半後、私達はめでたく結婚する事になりました。媒酌人は梧桐会の川村会長御夫妻にお願いし、披露宴では原田副会長の突然の提案により、大崎の同窓生一同で校歌を歌う事になりました。沢山の人の協力もあって大変思い出に残る披露宴となりました。

あれから半年が過ぎようとしていますが、結婚当初は考え方の違いや、習慣の違いなどで喧嘩をする事もありました。最近では徐々に夫婦間のルールも出来上がりました。まだこれからいろいろな困難があるとは思いますが、お互いに思いやりの気持ちを大切に、二人仲良く力を合わせて共に歩んでいきたいと思います。

含め、大勢の人で部室が賑わっていました。中には、放課後、「コロッケ食べない？」と、差し入れを持って来てくれる先輩もいました。あの、ほかほかとしたコロッケの味が懐かしく思い出されます。以来、「写真部」と「コロッケ」は切っても切り離せないものとなり、コロッケの差し入れは写真部の伝統（？）となったのであります。もちろん写真活動も盛んでした。中でも、体育祭写真速報は大変好評でした。撮った写真をすぐに現像。そして引伸をして展示。昼休みには、写真の前に黒山の人がかりました。今日、写真はデジタル化が進み、撮った写真を現像しないうちにその場で見る事が可能になりました。あの薬品臭い暗室での手作業は、

伝統工芸の様な物（？）になつてしまつても知れませんが、近況を久々に語らうまいせんか。写真部同窓会を開催したいのですが、残念な事に大半の人が住所不明で連絡がとれません。この記事が目についたら、ぜひ、ぜひ、御連絡下さい。お待ちしております。



大崎高校第二学年在学

家族構成
夫 樋田重雄 45年度卒
（樋田重風呂店代表社員）
妻 樋田美佐子 47年度卒
（樋田重風呂店社員）
長男 樋田雄一郎 23歳
（樋田重風呂店社員）
次男 樋田慶敬 18歳
（樋田重風呂店社員）
長女 樋田久美子 16歳
（大崎高校第二学年在学）

大崎高校を卒業して早十年。写真部だった皆さん、それぞれの道へ進まれ御活躍の事と思います。

しかし、風の便りが届くのは、同期の数人のみ。毎年五月の第二日曜日に大崎高校で開催される同窓会で顔を合わせると、「皆に会いたいな」という話になり、卒業以来御無沙汰の先輩、後輩の皆さん、久々に集まって昔話を花を咲かせませんか？ 私の時代の写真部の事を少し振り返ってみました。

現在、校舎は立派な鉄筋建てに代わりました。当時は、木造二階建て校舎で、階段の真下が部室兼暗室。生徒が昇り下りするたびにギシギシ、ガタガタと音のする暗室での作業でした。すぐそばには用務員室があり、窓に大きなお盆が二つ。いつも新で湧かしたお湯が一杯。薬品を溶く為のお湯をたびたび貰いに行きました。活発に活動が行われ、写真は撮らなくとも部室には顔を出す、といった部員も

伝統工芸の様な物（？）になつてしまつても知れませんが、近況を久々に語らうまいせんか。写真部同窓会を開催したいのですが、残念な事に大半の人が住所不明で連絡がとれません。この記事が目についたら、ぜひ、ぜひ、御連絡下さい。お待ちしております。

新幹事（13年度卒）
A 南部 亜純 大橋 皇子
B 荒井 利之 原田 直子
C 福幸 衆太 伊藤 信吾
D 大西 陽介 岩淵 元英
E 佐藤 純 稗田 佳代
F 伊藤 雄二 外間美紀子
G 仲宗根 祥 玉置智佳子

ハプニング！ このあと同窓生で校歌を歌う

写真部だった皆さん
消息を知らせて！

OPC 杉田重男（昭和41年度卒）

OPC

*連絡先
大田区東雪谷1-11-10
TEL/FAX 03-3728-3455
e-mail s-sugita@bf6.so-net.ne.jp

